

コラーゲン促進トリートメントのご紹介

歴史

- 1995 Orentreich, D. S. Subcutaneous incisionless (subcision) surgery for the correction of Depressed scars and wrinkles. *Dermatol. Surg.* 6:543
- 1997 Camirand, A. Needle dermabrasion. *Aesthetic Plast. Surg.* 21:48
- 1999 Fernandes, D. Skin needling as an alternative to laser. Presented at the international Confederation for plastic, reconstructive, and aesthetic surgery conference, San Francisco, Calif., June 26-30, 1999.

マイクロ針を使用し、コラーゲンの生成を促進するトリートメントの研究は1995年の学術発表を皮切りに、1999年にエンピロン創設者であるフェルナンドス医師が美容・美容整形界学会でその効果を大々的に広めました。その後フェルナンドス医師は積極的に研究を続け、今日では第一人者として知られています。

マイクロ針を使用して体が本来持つ自己治癒力を高め傷をつけることなく肌細胞の再生を促すという事実は、私たちがこれまで研究してきた中で始めて立証された。安全に繰り返し出来るトリートメントである。

フェルナンドス

コラーゲン促進トリートメントとは

コラーゲン促進トリートメントは、極細の針で肌に見えない小さな穴を無数に開け、その刺激で新しい肌細胞生成を促す画期的なものです。極少量の出血を伴います。1－1.5mm（顔・体）または3mm（肉厚な部分の体）の極細針がたくさんついたローラーを肌表面で転がしますが、麻酔クリームを使用するため痛みはありません。現在美容界では最もパワフルなトリートメントとして知られています。傷を治すプロセスでお肌を再生しようとする成長ファクターの分泌が助長され、それによって肌組織内でコラーゲン・エラスチンの生産が増加するため、肌にハリと弾力が戻り滑らかなお肌へ導いていきます。自己治癒力を最大限に生かして、根本的な肌質改善のために最新美容法です。

こんな方にお勧めです

- はりのないお肌、リフティングが必要なお肌
- 小じわや深いしわ
- ニキビ跡の傷、ストレッチマーク
- しみ、または白斑
- 赤み

以下の方はトリートメントをお受けできません

- ビタミンAクリームでお手入れされていない方（最低3週間事前に使って頂く必要があります）。
- レチノイン酸配合のクリームを使用中の方。ニキビ用塗り薬に配合されている場合があります。トリートメント前最低2ヶ月はご使用を停止している必要があります。
- 皮膚がん、患部にいぼがある方、日光角化症の方、または何かに感染しているお肌。
- 抗凝固薬（ワルファリン、ヘパリンなど）を服用中の方。
- アスピリン服用中の方。トリートメント3日前までに使用停止すれば、問題ありません。
- 麻酔クリームにアレルギーがある方。
- 抗がん剤、放射線治療をしている方。
- 大量のステロイドを服用または塗っている方。
- 患部に炎症をおこしているニキビがある方。
- 患部に現在活発なヘルペスがある方。
- 患部にとびひ(膿痂疹)がある方。
- 最近ボトックス治療をした方。1週間以上前でしたら問題ありません。
- 最近フィラー治療をした方。10日以上前でしたら問題ありません。
- 妊娠中または授乳中の方。正当な医療目的以外での麻酔クリームの使用を控えたほうが良いため。

トリートメント前に

- コンサルテーション前にお越し頂いて（無料）説明を受けて頂き、麻酔クリームのパッチテストを行います。施術は別日となります。
- トリートメント前に最低3週間はビタミンAクリームをホームケアで毎日ご使用して頂く必要があります。お肌を整え、ターンオーバーを最適な状態にしておくためです。

アフターケア

- トリートメント直後から12時間は肌が赤くなります。特に当日の夜は赤みが一番強くなります。肌表面に無数の穴が開いている状態ですので、お帰りはラッシュアワー時の公共交通機関はご使用にならず、また同日に込み合っている場所にはお出かけにならないことをお勧めします。
- トリートメント後24時間はお化粧をしないでください。また、ご使用の際にブラシやスポンジが清潔な状態にしてください。
- トリートメント後10日間は日焼けを避けてください。夏の日常生活は問題ありませんが、長時間の日光浴やビーチホリデーなどはこの期間避けてください。これは日光により肌細胞内で発生する酸化物質の影響で自己治癒力のプロセスを妨げないようにするためです。
- トリートメント後24時間はエクササイズしないでください。
- AHAやその他酸性成分が配合のスキンケアはトリートメント後48時間は避けてください。
- エンビロンロールキット(家庭用0.2mm針 applicator)のご使用はトリートメント後10日間は避けてください。
- トリートメント後はコラーゲン生成を助けるビタミンCやコラーゲン促成サプリメントの摂取をお勧めします。
- トリートメント後はエンビロンホームスキンケアを通常通り行ってください。ビタミンAが成長ファクターの働きを助け、ビタミンCが直接的にコラーゲンの生成を助長します。
- トリートメント後5日目までは乾燥したり少し肌表面がむけることがあります。これは通常の反応です。気になる場合は普段よりも保湿に重点を置いてください。

エンピロンとは関係なく独自の研究として極細針を用いた肌再生について研究を重ねている Aust 教授によって、以下のことが明らかになりました。

Aust 教授と Hanover Medical School の研究によると、肌の成長・治癒能力は以下の二つによって刺激され、その活動が助長されるそうです：

- 肌表面から与えられたビタミン A
- 極細針で肌に無数の穴を開けることによって活発になる肌の自己治癒力・再生力

また極細針での治療が助長するコラーゲンの生成は、回数を重ねるごとに蓄積されてくるとの報告があります。

- 施術 1 回、ビタミン A でのホームケアなし：表皮層が 115% 増加
- 施術 4 回、ビタミン A でのホームケアなし：表皮層が 205% 増加
- 施術 4 回、ホームケアでビタミン A を使用：表皮層が 658% 増加

増加したコラーゲン生成は施術直後から始まり、2 ヶ月かけて完了するため、肌の向上をきちんと確認できるのは 2 ヶ月後であるそうです。

成長因子が増加するのは細胞膜上の電子のバランスが変わるために起こります。それでは弱電流を流したらいいのではという仮説に伴い Aust 教授が 1994 年から現在まで研究を重ねたところ、少量の出血を伴う極細針での施術のほうが遥かに効果が期待できるとの結論に達しています。

よく聞かれる質問

感染のリスクはあるか

感染の報告はごくわずかです。極細針がついたアプリーケーターはそれぞれのお客様専用で、針の洗浄、施術中も手術用に使われるものと同じ、きちんと殺菌された手袋、ガーゼなどを 使用しています。また肌表面もトリートメント前にはアルコールが含まれたコットンで洗浄されます。しかし、トリートメント後の衛生管理（特に 12 時間）はお客様それぞれの管理のもと行ってもらっております（飼い犬に顔をなめられないようにするなど）。エンピロンではとても低い感染率はトリートメントによって刺激される最も強力な成長因子の一つ TGF- β 3 の活動が活発になるのが要因の一つではとしています。TGF- β 3 は免疫系もサポートするため、感染しにくい状態にしているのではと考えられています。

万が一感染してしまったらどのように見えるのか

白くて小さな気泡のようなものがポツポツとみえるようでしたら、その箇所だけに限定された感染の可能性がります。応急処置としては清潔なコットンなどでその箇所をふき取り、エンピロンの Sebuwash のような殺菌効果のあるフェイスウォッシュで洗浄してください。それでも取れない場合は医者に診てもらってください。もし痛みや赤みを伴う場合は感染が進んでいる状態です。すぐに医者に診てもらってください。ヘルペスがある方は、トリートメント時落ち着いていても万が一ヘルペスが現れることがありますので、トリートメント前と後に、大事を取って塗り薬を使用してください。

肌にダメージを与えるのか

Aust 教授の調査によるとトリートメント 12 時間後の観察で肌細胞にはダメージがない状態に回復している事がわかっています。

トリートメント後は紫外線に敏感になってしまいますか

トリートメントによって紫外線に対して異常に敏感になってしまうことはありませんが、紫外線によるフリーラジカルの発生を防ぐために年間を通して日焼け止めを使用してください。

コースで受ける必要がありますか

ベストな結果をお求めならばコースをお勧めします。理想を言えば1-2週間の間隔で5, 6回トリートメントを受けることとなります。それによって肌細胞が一新することとなります。これはフェルナンドス医師やAust教授もそのような結論を出しています。しかし、1-2回などの数回のトリートメントでもいい結果が出ている事は事実ですので、目標の程度に合わせて計画を立ててみてください。トリートメント後、2ヶ月は待たないと肌の変化はわかりませんので、コース終了後しばらくしてから肌の状態を確認してください。一度コースを終了したら、このトリートメントの頻度は最高で毎2-3ヶ月で大丈夫です。年に一度という方もおります。

ビタミン導入フェイシャルとコラーゲン促進トリートメントは、どちらがよりパワフルですか

この二つのトリートメントはコンセプトが違いますが、共にスタンダードなサロントリートメントよりは一歩進んだものになります。ビタミン導入フェイシャルは肌深部に栄養を届けるものですので、定期的を受けてもらって構いません。しかし、コラーゲン導入トリートメントはコース終了後、また単発で受けられる場合でも特別なトリートメントとして捉えられて頂いて結構です。肌自体が変わってくるためです。逆に言うと、お肌の状態を維持するためにはビタミン導入トリートメントは定期的にする必要があるということになります。コラーゲン促進トリートメントのコースを受けられている合間にビタミン導入フェイシャルで栄養補給してあげるのが、一番の理想となります。

コラーゲン促進トリートメントの直後ビタミン導入が出来ないのはなぜですか

コラーゲン促進トリートメントによって肌表面に無数の穴があくので、その直後にビタミン導入をしたら効果的なのではという質問をよく受けます。残念ながら出血をしたお肌はガーゼなどでふき取った後でも衛生上の問題を伴うため、超音波+電流という通常通りのビタミン導入が出来ません。しかしトリートメント最後にはビタミンAとCの美容液を塗り、その上にマスクをして電流を流すため、顔・首全体へ電流による浸透は含まれます。もしコラーゲン促進トリートメントの後にビタミン導入フェイシャルをご希望の場合は、2日間の間をあけてください。

クリニックで行われている極細針トリートメントとコラーゲン促進トリートメントはどこが違いますか

皮膚科や美容外科などのクリニックで極細針を使った施術をしているところもあります。もし彼らが1-1.5mmの針を使っているならば、コラーゲン促進トリートメントと似ています。クリニックで可能なのは顔などの皮膚の薄い箇所でも3mmの針を使用できることです。当然深刻なお肌の問題には3mmの針のほうが早い効果が期待できます。しかし、局部麻酔をしたり、施術後の肌状態の回復にも1週間要したりと、コラーゲン促進トリートメントよりも気軽に出来る施術ではありません。コラーゲン促進トリートメントは、人によっては赤みは多少残っているものの次の日から外出することも出来ますし、少し回復に時間がかかる人でも2, 3日後にはほぼわからないくらいになります。またトリートメント最後にビタミンAとC配合の美容液を浸透させるために海藻成分配合のマスク+電流を使いますので、即座にビタミン補給が出来るほか、マスクの成分で帰宅前に多少赤みが引いてきます。

エンピロンのコスメティックロールキットとコラーゲン促進トリートメントは何が違うのですか

コスメティックロールキットはホームケアをする際、化粧品の有効成分が肌深部に届きやすくするために0.2mmの針を使って肌表面にとっても小さいチャンネルを開けていくもので、肌本来の自己治療力には直接影響はありません。

トリートメントで使用する極細針アプリケーター・施術中写真



顔用の 1 mm アプリケーター



肉厚な部分のボディに使用する 3 mm アプリケーター



清潔に行われる施術中の写真

施術前・後写真の数例 (© Environ Skin Care (Pty) Limited.)



目がリフトアップして眉毛が上がっている状態。



おでこのしわがなくなり、肌自体若返った状態、施術後 2 ヶ月。



施術後はりが出た肌。最初の写真はモデルが 65 歳の時で次の写真は 70 歳の時。施術は数回のみだが、自宅でコスメティックロールキット・AVST Hydrating Lotion・AVST Body Oil を使ってフォローアップした結果。

Royka at Light Centre Belgravia

9 Eccleston Street London SW1W 9LX

info@royka.co.uk

+44 (0)7946 735 878

www.royka.co.uk